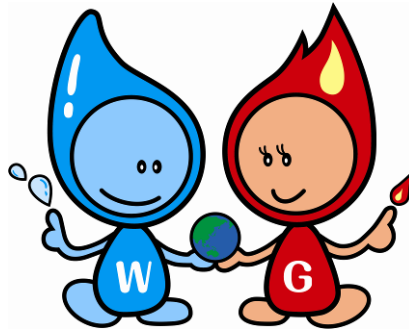


ウイズガス

上越市ガス事業
中期経営計画
～ 中間目標達成状況 ～



ガス水道局イメージキャラクター
ウォータ&ガスミン

平成23年10月

上越市ガス水道局

目 次

計画達成状況の公表及び計画目標値の変更について	1
中間評価と今後の方針について	2

計画達成状況の公表及び計画目標値の変更について

上越市ガス水道局では、平成20年4月に平成26年度までを計画期間として上越市ガス事業中期経営計画を策定しました。中期経営計画の7. 計画達成状況の公表では、平成23年10月に業務指標を用いて中間での計画達成状況の公表を行うこととしています。

今回の中間実績を受けて、また、平成20年9月のリーマンショックに端を発した世界同時不況によりガス販売量が減少したこと及び平成22年2月に料金改定を実施したことなどにより、平成23年3月に上越市ガス事業中期経営計画の「中期財政収支計画」を見直したことに伴い、下記のとおり、業務指標の平成26年度計画目標値を一部変更します。

<計画目標値を変更する業務指標>

業務指標	単位	変更前 目標値	変更後 目標値	変更理由
家庭用1戸当たりの ガス販売量	m ³ /件	46.1	44.0	中期財政収支計画見直しによる変更
職員1人当たり ガス売上	千円/人	99,639	119,620	中期財政収支計画見直しによる変更
未納金縮減率	%	40.2	45.1	中間実績が計画に対し大きく進捗したことによる変更

中間評価と今後の方針について

中期経営計画「4. 主要施策と目標」に設定した目標値と実績値を比較し評価します。
 ※朱書きした値は計画目標変更後の値です。

基本方針1 安全で安定した供給

「基本方針1 安全で安定した供給」では、3つの主要施策の目標が設定されています。
 実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 老朽化施設の更新							
安全で安定した供給を行うため、老朽施設の更新は不可欠です。既存施設を有効利用しながら、必要な更新事業を進めます。							
業務指標		単位	計算方法				
年間の管路更新率		%	(単年度に更新する管路延長/管路総延長) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
1.9	3.0	2.6	2.7	2.9	2.3	2.0	2.0
評価	〈達成〉 下水道工事などの他工事と合わせて工事を行ったこと及び国の景気対策の交付金を活用することで計画を前倒しできたことにより、計画を策定した平成20年度以降は各年度とも目標の2.0%を上回る更新ができました。						
今後の方針	今後も安全で安定した供給を行うため、計画的に更新を行います。						

主要施策② 供給施設の耐震対策							
新潟県中越大震災、新潟県中越沖地震の経験を踏まえ、主要施設の耐震化を更に進めます。							
業務指標		単位	計算方法				
管路の耐震化率		%	(耐震管延長/管路総延長) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
54.8	57.8	59.8	61.9	64.3	66.4	66.2	74.2
評価	〈達成〉 区画整理事業などの新設工事時に耐震管を布設するとともに、老朽管更新事業を積極的に行ったことにより中間目標を0.2ポイント上回ることができました。						
今後の方針	今後も安全で安定した供給を行うため、非耐震管の更新を行います。						

主要施策③ 供給施設の強化							
大口供給の大幅な増加に対応するため、新供給所の建設を行います。							
業務指標		単位	計算方法				
施設能力 (1日最大能力)		m ³ /日	市内供給所の施設能力合計				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
254,100	254,100	254,100	326,200	326,200	326,200	326,200	326,200
評価	〈達成〉 平成20年11月に大潟ガス供給所が完成し、より一層安定した供給が可能となりました。						
今後の方針	今後の需要を見極め、継続して安定供給を行います。						

基本方針2 お客様の信頼性向上

「基本方針2 お客様の信頼性向上」では、4つの主要施策の目標が設定されています。
実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 安心ガスライフの促進							
安心してガスをご利用していただけるよう、お客さま宅への定期的な巡回訪問による調査、安全使用についての周知及び改善提案を行います。							
業務指標		単位	計算方法				
白ガス灯外内*管残存率		%	(白ガス灯外内管残存本数/灯外内管総本数) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
30.2	24.2	23.4	22.0	20.1	18.5	14.5	5.7
評価	〈未達成〉 現在、該当お客さまに対し周知や2回目の個別訪問を行っていますが、改善費用がお客さま負担となることもあり、中間目標を達成できていません。						
今後の方針	今後、試掘を行い腐食状況をお客さまに確認していただくなど、周知や個別訪問の強化を行い、改善していただけるよう努めます。						
※ お客さま敷地内のガス設備は、お客さまの大切な資産です。土の中に埋められた亜鉛メッキ鋼管(通称：白ガス管)は、年を経るとともに腐食が進み、ガスが漏れることがあります。							

主要施策② 積極的な情報提供							
お客さまに役立つ情報を局独自の広報紙やホームページを中心に提供します。							
業務指標		単位	計算方法				
年間のガス水道事業の広報紙発行回数		部/戸	広報紙配布部数/供給戸数				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
評価	〈達成〉 広報紙「一期一会」を年2回発行し、お客さまにガス、水道事業について、情報発信を行うことができました。						
今後の方針	今後も年2回の発行を継続的に行うとともに、より分かりやすく、読みやすい紙面を作成し、お客さまにガス水道事業について興味を持っていただけるよう努めます。						

主要施策③ お客さまサービスの充実							
お客さまサービスを充実するため「アンケート調査」を実施します。							
業務指標		単位	計算方法				
アンケート情報収集割合		件/千人	(アンケート回答数/供給区域内人口) × 1,000				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
—	1.6	0.6	1.5	1.5	4.7	1.7	1.8
評価	〈達成〉 平成22年度は、10周年を記念し規模を拡大して行ったガス水道フェアやクッキング教室などで多くのお客さまからアンケートを回答していただいたことにより中間目標を3.0ポイント上回って達成しました。						
今後の方針	今後もガス水道フェアやクッキング教室などでアンケートを実施し、お客さまの「声」をお聞きしていきます。また、その「声」を活かし、お客さまサービスの充実を図ります。						

主要施策④ 次世代機器の普及促進							
将来にわたり環境負荷の低減に貢献できるよう、天然ガス車、コージェネレーションシステム、燃料電池などの次世代の高効率ガス機器システムの情報収集や普及促進に努めます。							
業務指標		単位	計算方法				
家庭用コージェネレーションシステム普及		台	市内の家庭用コージェネレーションシステムの台数				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
1	3	3	3	6	8	18	38
評価	〈未達成〉設置費用の助成を行い普及促進を図ってきましたが、価格や設置条件などの特殊性により、設置台数を伸ばすことができませんでした。						
今後の方針	今後も新製品や助成金及び料金プランの周知を継続して行っていきます。また、今までの周知方法を見直し、お客さまに選択していただけるよう努めます。						
業務指標		単位	計算方法				
天然ガス車台数		台	お客さまが保有する天然ガス車台数				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
38	38	40	41	41	42	44	53
評価	〈未達成〉主に業務用として台数を伸ばしてきましたが、補助金の一部廃止、他燃料自動車の技術向上、ガス充填箇所が市内に2か所しかないなどの要因が重なり台数が伸びていません。						
今後の方針	天然ガス自動車のメリットなどをお客さまに再認識していただくなどのPRを行い、天然ガス自動車を選択していただけるよう努めます。						

基本方針3 経営基盤の強化

「基本方針3 経営基盤の強化」では、4つの主要施策の目標が設定されています。
実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 家庭用販売量の向上							
経営基盤確立のため、家庭用販売量の向上を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
家庭用1戸1月当たりのガス販売量		m ³ /件	家庭用の年間販売量/家庭用年間総調定件数				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
45.9	45.2	45.0	42.8	43.3	43.1	46.0	44.0
評価	〈未達成〉オール電化攻勢が激化していること、また、高効率なガス機器が普及しつつあり、家庭用販売量が減少しています。						
今後の方針	社会情勢の変化によりガスの優位性（節電効果・環境性・利便性・経済性）が注目されていることから、温水暖房や燃料電池の普及促進を積極的に展開し家庭用販売量が増加するよう努めます。						

主要施策② 施設の統廃合							
合併で増加した施設について、リスク管理を慎重に検討し、施設の老朽度等を考慮する中で、施設の統廃合を推進します。							
業務指標		単位	計算方法				
地区整圧器室統廃合率※		%	(1- (年度末整圧器室数/H17年度末整圧器室数))				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
—	4.2	4.2	5.6	5.6	5.6	5.6	9.7
評価	〈達成〉導管網の改良を行ったことにより整圧器の統廃合をすることができ中間目標を達成しました。						
今後の方針	今後も導管網の改良を行いリスク管理を慎重に検討するなかで可能なものから施設の統廃合を行います。						
※ 平成17年度末の地区整圧器室数に対する削減率を示す。							

主要施策③ 技術力の向上							
サービス水準を維持するため、職員の技術力の向上やモラールアップ（意欲向上）を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
職員資格取得度※		件/人	職員が取得している法定資格数/全職員数				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
0.3	0.5	1.2	1.2	1.3	1.3	1.0	1.5
評価	〈達成〉ガス主任技術者、給水装置工事主任技術者の資格取得支援を行うほか、合格者を講師とした講習会の開催などを行っていることも中間目標を0.3件/人上回り達成した要因の一つです。						
今後の方針	今後も資格取得支援や講習会などを行い、有資格者の異動や退職に備え、特に若年職員の技術力の向上やモラールアップを図ります。						
※ 水道・簡易水道事業を含む。							

主要施策④ 経営の効率化							
定員管理や料金未納額縮減などにより、更に効率的な経営を目指します。							
業務指標		単位	計算方法				
職員1人当たりガス売上		千円/人	(ガス売上/損益勘定所属職員数) / 1,000				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
70,069	78,447	91,187	96,685	97,582	118,203	99,634	119,620
評価	<達成> 平成22年2月に料金改定を行ったことが大きな要因です。このほか、職員の削減等により中間目標を18,569千円/人上回ることができました。						
今後の方針	今後の方針 今後もガス販売量の増加に努めるとともに適正な人員配置を行い目標達成に努めます。						
業務指標		単位	計算方法				
未納金縮減率※		%	(1 - (年度末未納料金総額 / H17年度末未納料金総額)) × 100				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
—	20.7	33.7	40.8	42.9	43.8	34.7	45.1
評価	<達成> 未納金回収の強化により中間目標を9.1ポイント上回ることができました。						
今後の方針	今後の方針 財政の健全化及び公平な負担の原則から停止処分を継続的に行うとともに、平成23年4月からは料金徴収業務委託により、民間業者のノウハウも活用しながら未納金の回収に努めています。						
※ 平成17年度末の未納金に対する縮減率を示す。							